

平成26年3月14日

## 平成26年度 海外展示会出展事業にかかる企画提案募集要項

一般社団法人日本皮革産業連合会（以下、皮産連という）では、上記事業の委託先選定のため、企画提案募集を以下のとおり行う。

### 1 事業目的及び対象展示会の概要

#### (1) 海外展示会出展事業の目的

日本の革及び革製品の品質の高さやデザイン力を広く海外へPRし、日本の皮革産業の海外展開の機会を拡大する。

#### (2) 対象展示会

##### ① MIPEL9月展及び2月展

展示会名：MIPEL THE BAG SHOW <http://www.mipel.com/>

開催期間：平成26年8月31日（日）～9月3日（水）（9月展）

平成27年2月15日（日）～2月18日（水）（2月展）

会場：フィエラ・ミラノ展示会場（イタリア・ミラノ近郊のロー）

##### ② PROJECT LAS VEGAS 冬展（以下、PROJECT という）

展示会名：PROJECT LAS VEGAS

<http://www.magiconline.com/project-las-vegas>

開催期間：未定（平成26年9月頃決まる）。夏展ではなく冬展に出展

（参考）平成26年の会期：

平成26年2月18日（火）～2月20日（木）

会場：マンダレイ・ベイ・コンベンションセンター

（予定、アメリカ・ラスベガス）

##### ③ 2015APLF（素材展及び製品展）

展示会名：アジア・パシフィック・レザーフェア

MM&T 展（素材展）<http://www.mmt.aplf.com/> 及び

ファッション・アクセス展（製品展）

<http://www.fashionaccess.aplf.com/>

開催期間：平成27年3月30日（月）～4月1日（水）

会場：香港コンベンション&エキジビションセンター（香港）  
※素材展と製品展のブースの場所は異なる。

(3) 出展者等

①出展者：皮革及び皮革製品を扱う日本企業

②出展物：

MIPEL：革製のバッグ、鞆、雑貨（小物、ベルト、手袋など）

並びに以下のア、イいずれかを満たすもの。

ア日本製の革製品

イ日本製の革を使用した革製品（製品の原産国を問わない）

PROJECT：革製品全般（靴、バッグ、鞆、小物、ベルト、手袋、衣料等）並びに以下のア、イいずれかを満たすもの。

ア日本製の革製品

イ日本製の革を使用した革製品（製品の原産国を問わない）

2015APLF

素材展：日本製の皮革

製品展：革製品全般並びに以下のア、イいずれかを満たすもの。

ア日本製の革製品

イ日本製の革を使用した革製品（製品の原産国を問わない）

③出展者数（各展募集、選定を行う）：

ア MIPEL9月展、MIPEL2展、PROJECT展は各8社程度

イ 2015APLFは素材展6～8社程度、製品展15～24社程度。（過去の実績による見込。変動する可能性がある。）。企画提案書は、素材展7社、製品展17社を想定して作成する。

※各展とはMIPEL9月展、MIPEL2月展、PROJECT展、2015APLF素材展、2015APLF製品展の5展示会それぞれのことを言う。

④1 出展者あたりの展示スペース：

ア MIPEL展、PROJECT展、2015APLF製品展：横幅約2.3mの3段程度

イ 2015APLF素材展：S管を使って革を掛ける横幅約3mのポールを高さ約1.8m程度の辺りの壁に取り付け、更に、横幅約1.5m

×奥行き約 70cm×高さ 90cm 程度の展示台を設置する。

⑤小間サイズ：

ア MIPEL 展 130 m<sup>2</sup>程度 (MIPEL には 1 出展者 16 m<sup>2</sup>以上という規定がある)。1 塊のジャパンプースを予定

イ PROJECT 展 1000sft 程度。1 塊、通路を挟んでのそれぞれの可能性あり

ウ 2015APLF 素材展 80 m<sup>2</sup>程度、製品展 180 m<sup>2</sup>程度 (過去の実績による見込。変動する可能性がある。)。素材展、製品展それぞれ通路を挟んでのジャパンプースを予定

ジャパンプース：ブース位置と広さ、形状は各主催者との調整で決まる。MIPEL は 9 月展と 2 月展で違う場所、形状、広さとなる場合がある。

## 2 委託業務内容

皮産連が実施する「MIPEL9 月展及び 2 月展」「PROJECT 展」「2015APLF (素材展及び製品展)」の三展示会 (以下、単に「三展示会」という。) へのジャパンプース出展に関して、下記業務を行う。

ただし、2015APLF (素材展及び製品展) については、現時点で出展者数、面積、委託予定金額等が不確定であるため、これらが明らかになった時点で、別途調整の上で委託契約を締結することを条件とする。

- (1) 三展示会主催者との出展にかかる全ての連絡交渉、調整 (主催者への出展者の出展申込み、ブース位置の選定交渉及び出展料・ブースロースペース代の支払いに関する連絡を含む。)

※ロースペース代とは床代を言う。

- (2) 三展示会のジャパンプース造作の企画、施工及び撤去及びこれら業務のための三展示会主催者及び公式施工業者社との連絡調整 (日本らしさを出しながら、ジャパンプース全体の統一感を持たせる。MIPEL、PROJECT 展、APLF 製品展の一出展者の展示スペースは横幅約 2.3m の 3 段程度、APLF 素材展の一出展者の展示スペースは S 管を使って革を掛ける横幅約 3m のポールを高さ約 1.8m 程度の辺りの壁に取り付けると共に横幅約 1.5m×奥行き約 70cm、高さ 90cm 程度の展示台を設置し、各社の看板も設置する。展示スペース及び展示棚の各段に十分な明るさを確保する。ジャパンプースの看板、商談コーナー、収納スペースを設け、展示品を輸送した空段ポールも収納スペースに収納する。夜間の展示品

の盗難対策を講じる。)。MIPELについては9月展の反響を受け、2月展でブースデザインを含めたイメージ変更を行う場合がある。

- (3) 三展示会期間中のジャパンプース通訳(MIPEL 展は各回、日・英・伊通訳 3名、PROJECT 展は、日・英通訳 3名、APLF 製品展は日・英・中国語の広東語・中国語の北京語通訳 5名、APLF 素材展は日・英・中国語の広東語・中国語の北京語通訳 2名)、及び受付スタッフ(各展 2名: APLF は製品展、素材展それぞれ 2名)の手配。出展者の求めがあれば出展企業の専属通訳の仲介及び連絡を行うが費用は出展者負担とする。
- (4) ジャパンプースの運営(施工の立ち会い・確認、展示会中のジャパンプースへの監督者の配置を含む。また、皮産連の指示する展示会来場者及び出展者へのアンケート調査の実施・翻訳・集計・分析、アンケート回答者等に配付するノベルティの手配を含む。)
- (5) 三展示会の皮産連の必要とする物資(パンフレット、アンケート、アンケート回答者等に配付するノベルティ等)の輸送業務及びこれらの業務のための三展示会主催者及び公式輸送業者との連絡調整  
出展商品の輸送関連業務は出展者の求めがあれば輸送業者との仲介及び連絡を行うが、費用は出展者負担とする。また、ワニ、ヘビ等のワシントン条約品目(バッグ、小物等)も扱う輸送業者を紹介出来ること。
- (6) 上記(2)(5)に必要な三展示会主催者及び公式施工業者並びに公式輸送業者への支払(皮産連が行う三展示会主催者へのジャパンプース出展料及びブースロースペース代の支払いを除く。施工にあたっては電気幹線費用の支払いを含む。)
- (7) PROJECT 展及び MIPEL2 月展の出展者募集及び有識者による選定委員会(3人以上)を設置したうえで選定業務を行う(選定委員は皮産連が指定する。MIPEL9 月展及び 2015APLF 製品展・素材展の出展者募集及び出展者選定は皮産連が行う。)
- (8) 三展示会の出展者説明会の開催  
出展に必要な情報を提供する。また、商談効果を高めるために、出展製品に関する開催国市場の動向、効果的な展示会準備の仕方、商品展示・来場者へのアピール方法、展示会中及び終了後のバイヤーとの商談の進め方等のノウハウを提供する。MIPEL9 月展、MIPEL2 月展、PROJECT 展、APLF 素材展、APLF 製品展の説明会は別々に行う。
- (9) 出展者との連絡調整業務
- (10) 三展示会のジャパンプースの広報・バイヤー集客業務(バイヤー招聘、プレスを通じた広報、ジャパンプースパンフレット作成(MIPEL9 月展・MIPEL2 月展・PROJECT 展は各 1,500 部程度、APLF 製品展は 2,500

部程度、APLF 素材展は 700 部程度)、ホームページ作成、メルマガ発行、看板・バナー、ショールームの活用等。ホームページ作成にあたっては皮産連がサブドメインを提供する。)

- (11) 出展者の渡航・現地滞在については、出展者の求めがあれば旅行会社等の仲介は行うが、費用については出展者負担とする。
- (12) その他、三展示会を通じて日本の皮革産業を PR し、出展者の海外展開の機会を拡大するために有効と考えられる業務
- (13) 委託業務の報告書作成
- (14) 委託業務の実施に必要な支払い
- (15) 出展企業から参加負担金は徴収しないが、ブース造作等において出展者がオプションを希望し、皮産連が認めた場合は、オプションにかかる費用を委託先が出展者から徴収し、支払う場合はある。

### 3 企画提案書の内容

- (1) ブースレイアウト、装飾イメージの提示
- (2) 出展者説明会での開催国市場の動向、展示会準備・展示・来場者へのアピール・商談に関するノウハウの提供
- (3) バイヤー・プレス等への広報・集客
- (4) バイヤー・来場者への出展者及び出展物等の情報提供
- (5) 出展応募者への対応
- (6) 展示会中の展示・商談への対応（但し、商談は出展者が行う。）
- (7) アンケートの作成・配付・回収・翻訳・集計・分析の方法
- (8) その他、三展示会を通じて日本の皮革産業を PR し、出展者の海外展開の機会を拡大するために有効と考えられる業務
- (9) スケジュール
- (10) 日本、イタリア、香港、アメリカそれぞれにおける運営体制（日本の担当者は三展示会それぞれ 1 名以上、重複する場合は合計 2 名以上、出展者募集期間中は 2 名以上設置する。契約期間中、毎営業日、日本で連絡のつく体制を整える。）
- (11) 関連業務の実績(イタリア・香港・アメリカにおける実績、展示会業務の実績、日本企業の海外進出サポート等の実績、海外企業の場合は日本企業との業務実績等)

#### 4 事業実施期間

委託契約締結日～平成 27 年 3 月 31 日（業務着手は契約締結後。）

（2015APLF（素材展及び製品展）について別途締結する委託契約については、委託契約締結日（平成 26 年 11 月頃）～平成 27 年 4 月 30 日（業務着手は契約締結後。））

#### 5 応募資格

日本に拠点を有する法人で、本事業を行うために必要な能力、組織、人員、取引関係、経営基盤、技術基盤、資金力等を有すること。

過去に展示会の運営実績があること。

複数社による提案の場合は、意思決定と運営に責任を持つ代表社を定めること。委託契約は代表社と締結し、委託費は、皮産連からその代表社へ支払う。

必要な資料の提出や会議への参加をすること。

本事業の企画提案募集に関する説明会に参加すること。

#### 6 契約の要件

##### （1）契約形態及び予算規模

契約形態は委託契約とし、予算規模上限(税込み)は、MIPEL 展と PROJECT 展の二展示会（以下、単に「二展示会」という。）に係る部分について予算規模上限（税込み）41,500,000 円とする。別途契約する 2015APLF（素材展及び製品展）に係る部分については、予算規模上限（税込み）12,200,000 円で企画提案にかかる見積書を作成する。実際の契約金額は 11 月頃皮産連から提示する。

なお、三展示会の出展料及びブースロースペース代は、別途、皮産連が展示会主催者へ直接支払う。

##### （2）成果物の提出及び委託金の支払い

事業終了後に、別に定める事業報告書の提出が必要。委託金の支払いは、原則として委託業務終了後に確定検査を経て行うが、必要な場合は業務終了前に概算払いを認めることがある。

#### 7 応募手続

（1）募集締切 平成 26 年 5 月 1 日（木）17 時（必着）

（2）応募書類（以下の①～④各 20 部及び⑤2 部を郵送又は持参のこと。プレゼンテーションに参加する企業は、プレゼンテーションの当日に別途、指定部数を持参すること。）

① 三展示会に関する企画提案書（A4サイズ・横で表紙を除き40ページ以内）

② 三展示会に関する見積書（出展料及びブースロースペース代を除く）

見積書作成にあたっては、二展示会の見積書と2015APLF展（素材展及び製品展）の見積書は分けて作成する。

消費税欄を設け、外税表記とし、一般管理費は事業費・人件費の10%以内とすること。委託先従業員の人件費を計上する場合は、役職と時間単価、委託業務予定時間を明記すること。海外送金にかかる手数料は、事業費に盛り込んで構わないが、国内送金手数料は一般管理費から支出する（海外企業が委託先となる場合においても海外企業が所在する国の国内送金手数料は一般管理費からの支出とする。）。

海外企業が応募する場合は、受取銀行口座において三展示会の予算規模上限額合計額の受け取りが可能なことを事前に確認の上、応募する。また、委託先が海外企業となった場合の皮産連から委託先への海外送金は円建てで行い、「経由銀行・受け取り銀行で発生する手数料」は「お受取人負担」とする。経由銀行・受け取り銀行で発生する手数料は管理費から支出しても構わないが、管理費を超える金額となった場合でも委託先の負担とする。皮産連が海外送金する金額を委託額とする（皮産連が海外送金する金額と海外企業の銀行口座への入金額に差が生じた場合も同様とする。）。

③ 「3（1）～（11）」の各項目が企画提案書の何ページに記載されているかの一覧表

④ 会社概要（別紙1参照）

⑤ 企業パンフレット 2部（外国語の場合は翻訳を付けること）

（3）その他

（ア）応募書類は日本語で作成すること。

（イ）見積書は日本円で積算すること

（ウ）皮産連から委託先へは日本円で支払う（委託先が海外企業で海外の銀行口座へ振り込む場合も同様とする。）

（エ）応募書類は返却しない。

（オ）企画提案書の作成費用は支給しない。

（カ）プレゼンテーションに参加する費用（旅費等）は支給しない。

8 審査・採択・委託業者決定までのスケジュールについて

（1）事業に関する説明会の申込み期限 平成26年3月20日（木）

（2）事業に関する説明会 3月24日（月）14時～

応募を検討する企業に対して、平成26年3月24日（月）14時から説

明会を行うので、出席希望企業は、3月20日（木）までに別紙2の説明会参加申込書に必要事項を記載してファックスで返信する（1社2名まで）。

説明会でプレゼンテーションにおける注意点、評価項目、選考方法等について説明する。

- (2) 質問の受付期限（質問受付時間:9:00～17:00） 3月27日（木）  
質問は日本語で e-mail または fax で行う。
- (3) 募集締切 5月1日(木)17時必着
- (4) 第一次審査 提出書類による審査  
応募多数の場合は、二次審査前に企画提案書の評価を行い、プレゼンテーションに進む企業を絞りこむ。その結果は、5月9日（金）にメールで連絡する。
- (5) 第二次審査 プレゼンテーション 5月15日（木）  
プレゼンテーションの時間は20分程度、質問時間は10分程度。  
紙媒体でのプレゼンテーションをすること。
- (6) 委託先決定 5月16日（金）  
第一次審査、第二次審査の結果は、それぞれ該当者に通知する。なお、採否の理由に関する問い合わせには応じない。
- (7) 留意事項
  - (ア)応募企業の創意工夫により、三展示会を通じて日本の皮革産業を広く世界にPRし、出展者の海外展開の機会を拡大することが求められるので、応募企業がこのために重要と考える課題と具体的活動案を分かりやすく提案すること。
  - (イ)三展示会を通じた効率的な運用を行うこと。
  - (ウ)MIPEL展（9月展及び2月展）については、同期間に同会場で開催されるMICAM展に経済産業省が出展するジャパンプースとの間で、ブースデザインの調整等の必要があるので、このための同省及び同省が業務を委託する事業者との連絡調整が必要であることに留意すること。

## 9 契約について

採択された企画提案を基礎として、契約条件について皮産連と採択された企業で調整の上で、契約を締結する。この過程で、事業内容、委託金額等に変更が生じる可能性がある。また、皮産連が必要とする条件に合致しない場合は、契約締結ができない可能性がある。更に、業務実施状況によってはMIPEL9月展終了後に契約を終了する可能性がある。

2015APLF（素材展及び製品展）については、別途調整の上で、委託契約



を締結する。

#### 10 支払額の確定方法

委託業務終了後、委託先から提出される実績報告書及び領収書の写し並びに見積書・請求書等費用明細の分かる書類の写し・支払い時の為替レートの分かる書類の写し等の証拠書類を審査し・確定する。

現地調査を行い帳簿類及び領収書等の証拠書類を確認する場合もある。

支払い額は、契約金額の範囲内であり実際に支出を要したと認められる費用の合計となる。

支出額及び内容について厳格に審査し、これを満たさない経費は、支払い額の対象外となる可能性がある。

#### 11 問い合わせ先及び応募書類提出先

一般社団法人日本皮革産業連合会

〒111-0043 台東区駒形 1-12-13 皮革健保会館 7階

TEL 03-3847-1451 fax 03-3847-1510

E-mail : [matsuzuki@jlia.or.jp](mailto:matsuzuki@jlia.or.jp)

担当：松月、島岡、稲見

(別紙1)

## 会社概要

申請者：〇〇〇〇株式会社

代表取締役社長 〇〇 〇〇 印

1. 本社住所
2. 会社ホームページ URL
3. 設立年月
4. 資本金
5. 従業員数
6. 主要事業の実績（概要）
7. 関連会社
8. 主要株主

※ 本表のほか、直近過去2年分の財務諸表を添付して下さい（外国語の場合は翻訳を付けてください。）。

(別紙2)

平成26年度 海外展示会出展事業にかかる企画提案募集に関する説明会 参加申込書

1. 開催日時：平成26年3月24日（月）14：00～
2. 場 所：皮革健保会館 7階会議室  
東京都台東区駒形1-12-13

平成26年3月24日の標記説明会に以下のとおり出席します。

会社名	
出席者名	
連絡先	住所
	電話：
	FAX：
	E-mail（連絡窓口）：

※ 会場の都合で1社2名までとさせていただきます。

(宛先) 一般社団法人日本皮革産業連合会 担当：松月、島岡 FAX：03-3847-1510  
(TEL：03-3847-1451)